

鶴ヶ島市立図書館 YA向けおすすめ本ブックリスト

felice ふえりーちえ

feliceとは、イタリア語で「幸せ」



202212 Vol.2

YA (ワイイー、ヤングアダルト) =若いオトナ

YAとは、

子供と大人の間の世代を呼びます。

鶴ヶ島市立図書館では、
12歳から18歳くらいまでのみなさんを
対象にしています。

内容紹介文は tool-i より引用



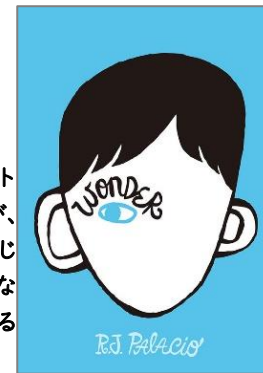
『ロンドン・アイの謎』
シヴォーン・ダウド 著
東京創元社 93ダウ

巨大な観覧車ロンドン・アイに乗りに出かけた12歳のテッド、姉のカット、いとこのサリム。サリムだけが観覧車に乗り込むが、一周して降りてくるとサリムの姿はなかった。閉ざされた観覧車からどうやって消えたのか…?

『ぼくたちのスープ運動』
ベン・デイヴィス 作
評論社 93デイ



ジョーダンが、ママが持たせてくれた温かいスープをホームレスの人にあげたことから広がっていった「スープ運動」。やがてジョーダンは、小児病棟で出会った少女との「大切な約束」が自分の行動の芯にあることに気づき…。



『ワンダー』
R.J. パラシオ 作
ほるぷ出版 93パラ

生まれつき顔に障害があるオーガストは、10歳で学校に通うことになったが、生徒たちは彼の顔を見て悲鳴をあげ、じろじろながめ、やがて避けるようになる。一方で、オーガストの話面白がる同級生は少しずつ増えていき…。

『星天の兄弟』
菅野 雪虫 著
東京創元社 93ガ



父が無実の罪で投獄され、幼くして罪人の子という重い軛を負うことになってしまった兄弟。互いを思いやりながら別々の道をゆく少年たちの運命は？ 家族とは、兄弟の絆とは何かを問う感動のファンタジー。

『凧の弦音』シリーズ
我孫子 武丸 著
光文社 97ビ



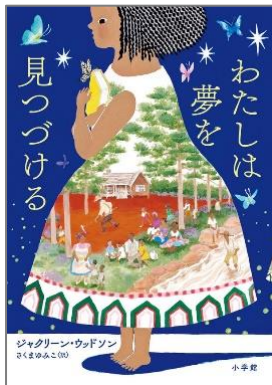
高校生の凧は弓道に打ち込んできたが、師匠の先生が亡くなってから弓を射ることができなくなった。ライバルの波多野がそんな凧に手を差し伸べ…。たのしくて胸にくる、青春ときどきミステリー小説第二弾。

『石黒くんに春は来ない』
武田 綾乃 著
イースト・プレス 94ク

スキー教室の夜、姿を消した少年は、雪山の中で救出されるが意識不明の重体。入院したまま少年は転校し、級友たちはバツの悪い思いをしながらも、日常生活を取り戻す。だが突然、少年からのメッセージが…。学園サスペンス。



『わたしは夢を見つづける』
ジャクリーン・ウッドソン 作
小学館 931ウ



オハイオで生まれたが、わたしの血管の中にはサウスカロライナの物語も流れている。自由を求めて爆発していた南部。わたしたちには好きどころへ出かけたり、夢を見たりする権利がある。明日への希望をリリカルに描く。

『飛べないハトを見つけた日から』
クリス・ダレーシー 作
徳間書店 93ダレ

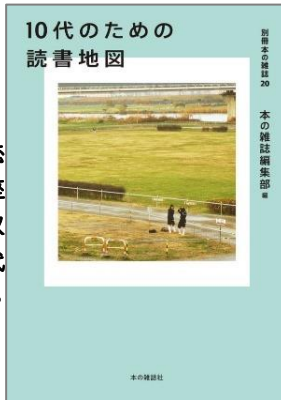
ある日、つばさの折れたレースハトを見つけた12歳のダリルは、世話をするうちに…。一羽のハトと出会ったことから、世界がぐんぐん広がっていく少年の姿を生き生きと描いたカーネギー賞特別推薦作品。



『10代のための読書地図』

本の雑誌編集部 編
本の雑誌社 019.5ジ

「朝の読書」「夏の読書感想文」対応の、10代におすすめするベスト100座談会や、ジャンル別ブックガイドを収録。全国書店員がおすすめする10代に読んでほしい本&読んでおきたかったと後悔した本なども紹介する。



10代のための
読書地図



本の雑誌社

読書者の目録 30
本の雑誌編集部



『図解はじめて学ぶみんなのお金』
伊藤 元重 監修
晶文社 337ズ

長い人生を自分らしく心豊かに暮らしていくために必要なお金の基本を紹介。お金が社会に求められるようになった理由から、お金との付き合い方まで、お金と人間のかかわりをさまざまな観点からいねいに解説する。

『HAVE PRIDE』

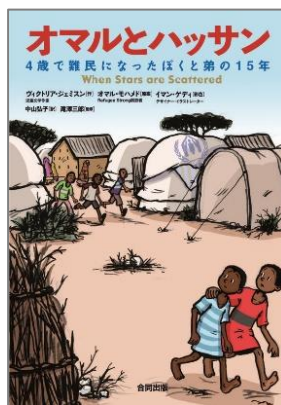
ステラ・A. コールドウェル 著
合同出版 367.9コ

ありのままの自分に誇りを持とう。そして愛したい人を愛し、自分らしく生きる人たちの勇気をたたえよう。LGBTQ+のびとの権利獲得に向けた思いと行動、それを抑圧する社会の歴史をたどる。



『10代の妊娠』
にじいろ 著
合同出版 367.9ニ

妊娠したかも…どうしたらいいの？ピルって体に悪いの？中絶って自分でできないの？出産したら学校はやめなきゃいけないの？10代の子どものリアルな性の悩みに答えるため、性の知識・情報をまとめる。



『世界一くさい食べもの』
小泉 武夫 著
筑摩書房 383コ

なぜくさい食べものは世の中にたくさんあるのか？世界一くさい魚の缶詰「シユール・ストレミング」、世界最強のチーズ「エピキュアー」…。人類の英知がたまった、くさい食べもの奥深い世界を案内する。

『オマルとハッサン』

ヴィクトリア・ジェミスン 作
合同出版 369.3オ

ソマリアで生まれたオマルは、内戦で父を殺され、母とは生き別れに。4歳のとき、まだあかちゃんだった弟のハッサンとともにケニアの難民キャンプへ…。子どもの視点から難民生活の記録を描いたグラフィック・ノベル。



『化石の復元、承ります。』
木村 由莉 監修
ブックマン社 457.8カ

誰も見たことがない太古の大型獣の復元に挑む職人たち。骨格レプリカ、生体模型、デジタル復元、展示づくりの現場などから、古生物復元師たちの仕事に迫る。写真も多数収録。

『桃太郎は嫁探しに行ったのか？』

倉持 よつば 著
新日本出版社 388.1ク

お姫様を連れ帰ってきている昔話「桃太郎」はあるのか。地域によって桃太郎のお話は違うのか。日本各地の伝承昔話を読み比べ、一般に知られた桃太郎を新たな視点で読み解く。



『アザラシ語入門』

水口 大輔 著
京都大学学術出版会 489.5ミ

氷の下で交わされるアザラシたちの「会話」は謎だらけ。水族館に通い詰め、流水の海に繰り出し、幾多の困難を乗り越えて「アザラシ語」の解明に挑んだ著者の奮闘記。



『グレタ・トゥーンベリ』
グレタ・トゥーンベリ 著
あすなろ書房 519ト

賛否両論、世界を驚かせた若き活動家は、何を思い、臆することなく信じる道を歩み続けるのか？スウェーデン政府に対し、パリ協定に準拠した二酸化炭素排出量の削減を要求したグレタ・トゥーンベリの素顔に迫る。



『食べものが足りない!』

井出 留美 著
旬報社 611.31

フードクライシスがやってきた!命をつなぐ食料に危機が迫り、多くの人が飢餓に直面している理由をイラストを交えて解説。食料危機の解決のために個人にできることを示す。



『Eバーガー』シリーズ

神戸 遙真 著
講談社 コウ

高校受験に失敗し、パツとしない毎日を送っていた高校1年生の守崎優芽。退屈な夏休みを過ごすはずだったが、思いがけずハンバーガー店でバイトをすることに。ここで自分を変えていこうと前を向く。気づけば、恋の予感も…。

